



巻頭特集

地域社会と、 広域協組。

KURS コラム第二回
「伝える」人見建設株式会社

生きる 生コンクリート



安心できる暮らしと社会と未来のために…



大阪広域生コンクリート協同組合

<https://www.osaka-kouiki.or.jp/>



@osakakouikinama

CONTENTS



004 巻頭特集

地域社会と、広域協組。

010 KURS レポート 第3回

第12回「未来の街を描こう！絵画コンクール」表彰式

013 KURS コラム [第二回]

「伝える」人見建設株式会社(後編)

020 DATA で見る生コンクリート産業の現状

028 KURS レポート 第4回

KURS 第1回「安全対策講習会」

協賛団体

019 大阪兵庫生コンクリート工業組合

019 一般社団法人西日本建設関連オーナー会

019 和歌山県生コンクリート工業組合

019 大阪府砂利石材協同組合

019 神戸みなと建設協議会

019 大阪広域輸送協同組合

019 関西圧送協同組合

022 大阪広域生コンクリート協同組合

030 和歌山県広域生コンクリート協同組合

012 労働法ゼミナール Lesson3

018 労働法ゼミナール Lesson4

031 YUI 掲示板

032 建物探訪「大阪市中央公会堂」

034 労働法ゼミナール Lesson5

地域社会と、 広域協組。

社会貢献活動の基本は 近江商人の「三方よし」

人は1人では生きていけない。企業や組織も
いるんな人が関わりあって成立している。それが
社会だ。「結」今回の巻頭特集は、大阪広域生
コンクリート協同組合（以降、同協組）の社会
貢献活動など（CSR＝企業の社会的責任）を
紹介する。取材にご協力いただいたのは、同協
組企画部・法務部（以降、企画部）の皆さんだ。
同協組は、社会貢献活動にたいへん力を入れ
ている。その理由は、私たちの仕事であるコン
クリートという基礎資材が、地域社会の基盤づ
くりに大きく関わっているからだ。そしてその
考え方のベースになっているのが、「結」創刊号
で木村理事長が語っておられた「三方よし」の

考え方だという。

「もともと協組内に「三方よし」の考え方があ
りますので、組織の規模にあわせた社会貢献を
しなければならぬということ、昔からやっ
ていました」と語ってくれたのは、同部部長の
小早川清氏だ。

三方よしとは、近江商人が末長く商売を続け
るために掲げた「売り手よし、買い手よし、世
間よし」という精神のこと。近江の地（滋賀県）
を出て諸国で商売をするには、私利私欲だけで
なく、相手のこと、また相手の住む地域のこと
も考えなければ続けられないということを、彼
らは経験上学んでいたのだらう。

CSRとは、三方良しを現代的に解釈したも
のだ。対象はステークホルダー（企業経営に関
わる利害関係者）と言われ、従業員やその家族、
消費者、株主、取引先、地域社会などだ。

◎ご訪問先

大阪広域
生コンクリート協同組合
企画部・法務部



企画部・法務部
部長 小早川 清氏（写真右）・同課長 瀬山 宏氏（写真左）・
雪本 清人氏（写真中）





皆さんから託された 1㎡×5円を役立てる

現在、同協組のCSR活動は、企画部が担当している。

活動の流れとしては、普段からさまざまな分野で社会貢献につながるテーマを探し、ふさわしいと判断したテーマを理事会や全社会に提案して、組織として承認いただくという流れだ。

同協組のCSR活動には、一般企業などにはない素晴らしい特長がある。それは、活動のベースとなる予算の組み方だ。

なんと生コン業界にふさわしく、年間出荷量(㎡)×5円を役立てているのだ。ざっと計算すると年間出荷量が約700万㎡とすると、700万×5円＝3500万円と、非常に分かりやすい。

私たち大阪広域生コンクリート協同組合は、
[年間出荷量×5円]を
社会貢献活動に役立てています。



もちろん実際は、これだけでは足りない場合もあるのだが、これなら、誰もがその出処や全体像を容易に理解することができる。つまり、組合員の皆さんが、一生懸命働いていただいた生コンの1㎡当たりについて5円を、使わせていただいている。皆さんからの気持ちを託されているのだ。企画部の皆さんは、常にこのことを心に留めながら、活動を推進している。なので、労働者の皆さんも、「社会貢献なんか、自分には関係ない」などと考えずに、社会の一員として、その活動内容や経緯、成果について興味をもっていたきたい。

未来の街を描こう！ 絵画コンクール

続いて、一つひとつの活動を紹介していこう。
まず同協組の代表的な活動と言える、〈未来の街を描こう！絵画コンクール〉について。

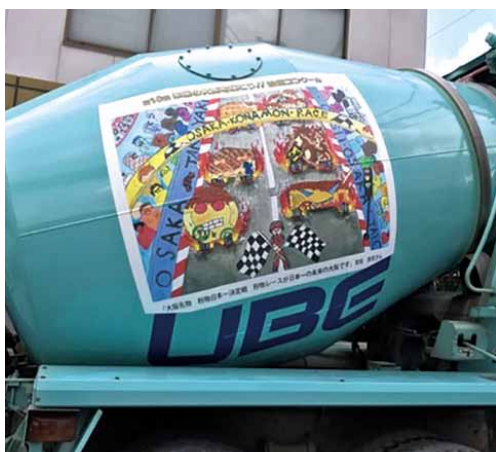
同協組のCSR活動の究極の目的は、未来の生コン業界を背負って立つ人材育成だ。その目的に対して、真正面から取り組んでいるのがこの活動と言える。

その考えから、子どもたちが未来の街を自由な発想で考え、描き、発表する場を設けるため、産経新聞社との共催で、このコンクールを2007年から12年にわたり実施している。展示会や表彰式を行うだけでなく、受賞作品は産経新聞に掲載され、実際に使われるミキサー車

にプリントして、街中を走ることと活動の趣旨をアピールしている。
この活動については、後半（P.10）に、詳しく紹介している。



インタビューを受ける受賞者（写真上）と、過去の受賞作品をプリントしたミキサー車（写真右）。



具体的な活動としては、ステッカー（写真右）をミキサー車に貼り（写真上）、市内を走ることと招致活動のお手伝いをしていました。



EXPO2025 オフィシャルパートナー

いま最もタイムリーな活動と言えるのが、EXPO2025オフィシャルパートナーだ。
2025年に大阪・関西で開催される国際博覧会（万博）に、これまで大阪府や大阪市をはじめさまざまな団体が招致活動を行っており、同協組も2025日本万国博覧会招致委員会のオフィシャルパートナーとして、その招致活動に協力。開催決定後も、応援を続ける予定だ。

防災活動への協力

非常時の対応として行っているのが、〈防災活動への協力〉だ。

同協組では、2006年に大阪府危機管理室と「災害発生時の水利確保に係る防災活動協力に関する協定」を締結。南海トラフ巨大地震など、大規模災害が発生した際に、組合員がミキサー車によって消防用水の輸送や貯水槽への充水を行うことで、防災活動に協力。自治体からの要請によって防災訓練を行っている。

防災活動イメージ図





地域社会と、 広域協組。

レジリエンス認証

レジリエンスとは、復元力や病氣などからの回復力、また強靱さなどの意味をもつことから、転じて南海トラフ巨大地震など、大規模災害が発生した際、事業を迅速に復旧させるための活動のことを指す。

同協組は、社会的責任としてこの活動に取り組む、災害時に組合員の安否確認をスムーズに行えるよう、管理システムを導入するなどの事業継続計画（BCP）を充実。また、この活動の一環として、政府の推進する国土強靱化大賞



ジャパン・レジリエンス・アワードを受賞することで、レジリエンス認証に一步近づいた。

（ジャパン・レジリエンス・アワード）に応募、2018年3月20日、優秀賞を受賞した。

今後は、事業継続計画のさらなる充実を図り、内閣官房国土強靱化推進室公表のガイドラインに沿った（レジリエンス認証）の取得にも取り組んでいくという。

寄付活動

同協組では、大阪府や兵庫県、社会福祉、児童福祉施設をはじめ、災害復興支援など、社会のため、社会で生きる人々と、子どもの未来のために寄付活動を積極的に行っている。



平成 29 年度、大阪府の福祉基金並びに大阪府防災基金に対して、地域社会と福祉事業への貢献が評価され、内閣府より紺綬褒章が授与された。

その他の活動

同協組のCSRは、ほかにも ●工場見学や技術研修 ●SDD（ストップ・ドラック・ドライビング） ●地域活動への支援などがある。

さらに活動の裏には、プレッシャーや想定外のトラブル、厳しい現実との対峙がある。

特に寄付の場合は実際に施設まで足を運び、困っていること、必要なもの、これからやっていきたいこと、寄付金を何に使いたいかなど、置かれている現状を把握するため生の声を聞いて、寄付先を選定している。

組合員の皆さんから預かった、m×5円という大切なお金を使わせてもらうという、重要な責務を果たすため理事会、全社会で報告し、承認を得たうえで実施している。

福祉の現場で働く人と、心を開いて話をする、世の中の不条理や人の生死など、厳しい現実を垣間見ることもあるという。「重いテーマに対峙したときは気が滅入ることもありますけど、施設で育った人がミキサー車の運転手として働いている話などを聞くと、寄付がきっかけで、子供たちの夢や明るい未来へつながる、この素晴らしい活動を続けていきたい!」と、同部の前田氏は明るく語ってくれた。

このように、寄付活動をはじめ同協組のCSR活動は、対話や確認、寄り添いなど地道な作業も含めての活動となるのだ。

12年の看板企画を支える 小早川氏の熱意

ここで、CSR活動の裏側をみていこう。

企画部が行うCSRの仕事は、新しいテーマを提案することだけではない。

例えば、何年も継続している既存の活動の、運営管理も重要でたいへんな仕事なのだ。ここでは、代表的な活動のひとつ、〈絵画コンクール〉について深掘りしてみたい。

絵画コンクールは、同協組で最も重要なCSR活動だという。その活動に初回から携わっているのが、企画部の部長を務める小早川清氏だ。

「平成17年に、生コンの品質保証宣言ということで、弊組合の生コンに〈コンクリード®〉というブランド名をつけて、それを宣伝する方法を考えるよう企画部に指示があったんです。で、業者さんと成功事例をさがすうちに、絵画コンクールを開催し、受賞作品を持って御堂筋パレードに参加し、名前を広めて売上げを伸ばした事例がありまして、ウチでもやってみよう！ということではまりました」。

当初の目的はコンクリード®をアピールするための手段だった絵画コンクールだが、今回で第12回を迎えるまでに成長した。取り組みはまったくの素人からのスタートで、ここまでくるには、いろいろとご苦労があったようだ。

第1回目は告知が出来ていなかったから、締



木村理事長も入っての診査風景。応募作品が多い時には朝から晩までかかることもあるという。

切り3日前までに80点しか作品が集まらず「このままでは審査会ができないのでは…」と心配していたところ、締切り3日前にまとめて100点が届きなんとか開催できたり、屋外の受賞作品貼付ミキサー車披露会に観客が集まらず、理事長が野良犬の前で挨拶をする羽目になったり、関東の学校から、毎年まったくテーマに関係ない作品が大量に送られてきたりと、苦労話やエピソードには困らない。

「何でも1回・2回は、勢いもあるし、なんとなかなる。けど12回も続けられるのは、小早川さんの熱意や姿勢が反映されているからやと思う。作品は集まるか？良い絵はあるか？入賞者は当日来てくれるか？…とか、いろんな心配やプレッシャーを相当感じながらやっていると思う」と、

同部の前田氏も感心する。

まさに小早川氏は、このイベントに全身全霊をかけていると言っても過言ではない。実は、イベント終了後に倒れてしまい、そのまま入院することもあった。一見、穏やかそうに見える小早川氏だが、実は熱い人なのだという。聞けば、第1回目には、念願の御堂筋パレードの面接で営業色を出しすぎて、審査に落ちてしまったという。熱心さゆえの残念なエピソードだ。

しかしこの様な小早川氏の頑張りがあるからこそ、12年も続くヒット企画に成長したのではないだろうか。当初は180点から始まった応募作品点数も、今回は1653点。これまで最高で2000点を超えたこともあったという。



参加者にプレゼントされるレプリカの額（写真上右）、キーホルダー（写真上中）、木製のミキサー車模型（写真上左）とトートバッグ（写真左）。



地域社会と、 広域協組。

親御さんの涙が スタッフの力になる

そんな小早川氏が、なぜここまで熱心になれるのかがあった。

「第1回の表彰式するとき、後ろから見ていると、1人のお爺さんが『今、表彰されているのはウチの孫ですね。あんまりつばに育ったんですわ』と、泣いて喜んでくれるんです。それを見て、スタッフ全員もらい泣きました。で、これは絶対に続けなあかん！と思いました。やっぱり親御さんたちが喜んでくれるのを見るために頑張っているんです」。この活動は、毎年3月の産経新聞社との打ち合わせから始めて、11月の表彰式まで、その間、ほぼ小早川氏が一人で進めているが、今では企画部の顔であり、1年でいちばん重要な行事だという。

同部の前田氏は「実

は、協組内でもまだこの活動のことを知らない人もいます。ですけど、表彰式を見て『ええことやってるんやなあ』って言われることもあります。もっとみんなに知ってほしいですね」と、この活動の魅力を語ってくれた。



受賞した作品は、産経新聞の朝刊にカラーで掲載される。これも参加者の喜びにつながる。

●詳しくは下記
ページをご覧ください。



子供達の、業界の、 社会の未来のために

子供の絵をサポートすることについては、企画部や小早川氏の熱い想いだけでなく、子供達に、少しでも生コン業界に興味を持ってもらいたいという、同協組の狙いがある。

「受賞した人の追跡調査をしたら、大阪芸術大学に進んで、画家の卵になっている人が2、3人いました（笑）。でもほんとうは、この子たちが社会に出る時、生コンに興味を持ってくれたり、ここから未来の業界を背負って立つ人材が出てきてもらうのが、僕の夢なんです」と、小早川氏も語る。



取材にご協力いただいた大阪広域生コンクリート協同組合
企画部 部長の小早川清氏。

子供達の夢は社会の未来そのもの。そんな子供たちの未来、生コン業界の未来、そして社会の未来、それぞれを重ね合わせるこの活動は、まさに三方良しの考え方に合致するものだ。

今後同協組を代表するメインイベントとして、続けていってほしい。

このように同協組では、私たちの業界が地域社会の一員として少しでもお役に立てるよう、さまざまなCSR活動を行っている。

地道で大変な作業ではあるが、これからも皆さんから託された想いを、地域社会に伝えていきたい。

広がる想像力、輝く笑顔。

第12回 「未来の街を描こう！絵画コンクール」 表彰式



開会の挨拶を行う、大阪広域生コンクリート協同組合理事長の木村貴洋氏。

**競争率60倍の中から
厳選された28点**

2018年11月4日、大阪広域生コンクリート協同組合（以後、同協組）の代表的なCSR活動である第12回「未来の街を描こう！絵画コンクール」の表彰式が、梅田スカイビルで行なわれた、今回のKURSレポートは、その表彰式当日の様様をレポートする。

「いんこちはー」

表彰式は、同協組の木村貴洋理事長の挨拶から始まった。

「本日は、第12回の絵画コンクールの授賞式に多数お見えいただきありがとうございます。」

このコンクールも、皆さまのお陰をもちまして、本年度12回目を迎えました。作品が前にあります、どれも非常に素晴らしい作品で、審査員は非常に苦労いたしました。

まずは、幼稚園児の方、それに小学生の方、それと団体賞と28の個人賞、6つの団体賞を審査いたしました。

今回のコンクールのテーマは、『世界に見せたい未来の街』ということで、これは2025年に予定されている大阪万国博覧会が、11月23日に誘致が決まると言うことから、それにも寄与するような作品がここに並んでいると言うことです。今回は全1653点、なんと60倍の厳正なる審査の中から選ばれた作品28点でございます。審査は非常に苦労しましたが、本日は表彰式でございますので、皆さん十分に楽しんでいただきたいと思います。

応募作品の審査は、作家の眉村卓先生、キッズ・ゲルニカ関西代表の阿部寿文氏、産経新聞編集委員の荻原靖史氏と大阪広域生コンクリート協同組

合でいたしました。

また、関係者のみなさまには、この絵画コンクールの開催にご努力をいただきまして、誠にありがとうございます。はなはだ簡単ではございますが、主催者の挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。ありがとうございます。」

この取り組みは、人々の夢や想い、希望とともに発展してきた私達の住む関西の街が、さらに住みよく豊かになることを願いつつ、次代を担う子どもたちが自由な発想で未来を空想し、表現力を育むための機会として、同協組と産経新聞社が共催で行う絵画コンクールだ。



司会者の質問に、満面の笑みで応える受賞者。

KURS レポート

第3回



作品と一緒に、ご家族と一緒に記念写真をパチリ
(写真上右、中右、中左)。
当日参加した受賞者の記念写真(写真左)。

最優秀受賞作品は ミキサー車であなただの街へ

挨拶の後は、いよいよ表彰式だ。

このコンクールは今年で12回目。テーマは「世界に見せたい未来の街」だ。表彰式の会場では、1653点の応募作品の中から、厳しい審査を通過した28点の優秀作品が展示されている。ステージでは次々と各賞が発表され、受賞者は、司会者の質問に、うれしそうに微笑む。そして、未来の街最優秀賞には「太陽からエネルギーを作る町」

の柴谷英太さん、未就学部門の最優秀賞には「水があふれる未来の街」の粟田悠仁さんが受賞した。

審査員からは、「今までたくさん他の子どもたちの話を聞いていましたが、言葉より絵ですぐいお喋りをしている。このエネルギーは、ホントに魅力的に感じました。(キッズ・ゲルニカ関西代表 阿部寿文氏)」、「才能の爆発だ!絵が語りがけるというのか、受

賞された子供さんたちの声を聴くと、絵が物語を語っているなと思いました。(同協組理事長 木村貴洋氏)、「まずこの赤がやっぱり素晴らしい。ミキサー車映えるーそれと、小さなところに色んな発見があるんです。凄く繊細で大胆なんです。(産経新聞編集委員 荻原靖史氏)」などのコメントがあり、好評のうちに式典は終了した。

この後、最優秀受賞作品は、同協組のミキサー車にプリントされ、子供たちの夢を乗せて大阪の街を走る。もうすぐあなたの街で出会えるかもしれない。

未来の街最優秀賞



「太陽からエネルギーを作る町」

未就学児部門 最優秀賞



「水があふれる未来の街」

未来の街最優秀賞(写真左)と、未就学部門最優秀賞(写真右)

よくわかる!!

労働法ゼミナール

Lesson 3『休憩時間』

前号の Lesson1、2 では、労働者の皆さんが興味を持たれるテーマ、残業について学びましたが、今号のテーマも、皆さんが残業と同じように興味を持たれる『休憩時間』、『休息時間』と『拘束時間』です。

少しややこしいかもしれませんが、それぞれの違いについて学んでおきましょう。

?『休憩（きゅうけい）時間』とは？

『休憩時間』とは、労働基準法第 34 条に定めがあります。簡単に言うと「労働から離れて自由に過ごす時間」のことで、使用者の指揮命令下でない時間です。ですので休憩中に電話番号や受付などを頼まれた場合は、休憩とは言えません。使用者は、労働時間が 6 時間を超える場合は少なくとも 45 分の休憩、

8 時間を超えるときは 60 分の休憩を労働時間の途中に与えなければなりません。ただし、『休憩時間』は労働時間ではなく、自由に労働者が過ごすため、この時間には給与の支給はありません。いわゆる昼休みのような時間のことを指します。

休憩時間

- ・労働から解放された自由な時間
- ・労働時間が 6 時間超～ 8 時間以内で、最低 45 分
- ・労働時間が 8 時間超で、最低 60 分
- ・労働時間の途中（間）に与えられる



休憩時間を分割しても違法ではない

■違法となる例



労働時間後の設定は、休憩時間にならない

★労働時間は 8 時間 15 分だが、休憩時間は 45 分となる

雇用する側もはたらく側も、はたらくルールをよく知り、安全で快適な職場環境をめざしましょう。

※ご質問・ご意見などがありましたら、KURS までお問い合わせください。



KURSコラム

『伝える』

KURSコラムは、さまざまな業界の一線で活躍される方々から、技・思い・伝承……などについて語っていただく企画です。良い仕事をするためのヒント、目から鱗の一言など、読者の皆さんのお仕事にお役立てください。

[第二回]

後編

人見建設株式会社（京都府京都市）
代表取締役社長 人見 毅氏



自己責任とチーム連携の欠如が、 品質の低下や事故につながる。

—いま社長が仰られたのは大変貴重なお話です。
今日のお話は、木造建築物の話ですし、我々の業
界とは歴史も違いますけど、コンクリート構造物
にもこういった技術や考え方があってほしい、

話題としてコンクリート業界にも伝えるべきだと思
うんです。現状ではコンクリートを納入する工
事現場で、監督が徹底しているのは安全配慮だ
け。工法だとか建築への情熱などの話は皆無なん
です。私自身も10数年前は現場で働いていてコン
クリートを運んでいましたけど、こんな話を職人
の方としたことは一度もない。社長が仰られたよ
うに、職人の技術継承があつて、技術が有効に活
かされて、一つの物が出来上がるんですが、私は
その工法が効果を上げるためには質の高い資材が
必要だと思つんです。先ほどのお話をうかがつて、
ほんとに目から鱗と言いますか、初めてこういう
お話が聞けて、すごくうれしいです。

ところでいま現場で、見習いベテラン含め、い
ろんな方が仕事をされていると思いますが、特に
最近の働き方をご覧になられて、取り組み方とし
て必要だと思われることはありますか？昔に比べ
て今はこうだとか、過去はこれで良かったが、今
はこうしないとだめだという変化は……働き方と
して……。

昔は親方が見習い数人を連れて、仕事を通じて
多くのことを教えてくれたかと思うのですが
……、最近では、自己責任の無さというのでし
ょうか、そういうところが変わったと思います。

—はい、はい、自己責任の無さね……。

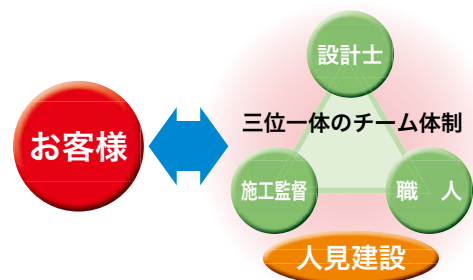
この業界に入った頃によく聞いたのが、「ケガ
と弁当は自分持ち」と言う言葉です。弁当は手弁

当で、ケガも自己責任で「自分自身で守らんと誰
も助けてくれへんよ」ということやと思います。
でも今は、現場にいるんな人が出入りするようにな
った。職人の平均年齢もずいぶん高齢化してい
る。それに昨日まで全く違う仕事をしていた人が
現場に入ってくることもある。ですから安全配慮
義務が重要だと思えます。昔と比べてずいぶん変
わったなと思う点は、例えば少しの段差があつて、
つまずいて怪我をした場合、昔だと、それも勉強
として「どんくさいな、足元見てないお前が悪い
んや」と言われて終わりでしたが、今の時代は、
現場の安全配慮がどうだったのか……となる。で
すから工事責任者としては現場事故が無いように
ピリピリとしています。



伝統工法を使う建物にも、基礎にはコンクリートを打設すること
も多い。

KURSコラム 『伝える』



—うん、なるほど。

あとは、現場の職人同志の仲間意識ですかね。いろんな人が参入するのはある意味では良いのかも知れませんが、同じ釜の飯を食う、みたいなチーム意識というのは少なくなってきたかなと思いますね。

—はい、分かります。そうですね。

現場では自分の仕事だけして終わりではなく、そのあとの工程を考えて、電話連絡をするだけでもずいぶん良くなると思います。でも今は携帯電話など便利になったにもかかわらず、チーム連携という意味では、希薄になった感じがします。

—つまり、技術として継承される以外のもの、時代や世代、環境の変化なんかによって変わらざるを得ないような……。

まあ……時代の変化と言いますが、単価が下がって必要以上に予算を掛けられない現実……。

—それもあってですね。

でも、ウチは社員大工を育てていて、木工事がメインの現場では、大工が現場監督の代わりに施主さんへ進捗状況を報告したり、専門業者の段取り調整役になってくれたりと頼もしい存在です。業者さんからは「他所の現場では、大工さんが入れ替わったりするから連携が取れていない」、「納まりのわかっていない現場監督が多く苦労した」などのお話を耳にします。

—人見さんのところは、さすがですね。

一つの現場では、20以上の専門業者が集まって工事を進めていく。先ほどもお話ししたように、自分さえ良ければそれで良いではなく、みんなが協力しなければ、決して良い仕上がりにはならないと思います。そのあたりを業界全体で認識しないといけないですね。ですから石川さん達の組合活動も大事なことです。協力業者間で仲良しこよしではダメですが、互いに意見を言い合える関係を築くことが大事ですね。ウチの社は（しやぜ）は、（和気あいあいの家づくり）なので、みんなが和気あいあいと仕事をした結果、お客様にご満足いただき、地域社会から頼りにされる存在になったときに、ほんとうに良い関係が生まれます。

—その通りですね。でも社長が仰るように、今の現場環境から考えると、難しいところもありますよね。余談になりますが、私は最近、現場の調査

に入らせて貰っ

てるですが、ク

レーンがよく

ひっくり返る事

故があるじゃな

いですか。あれ

を現場の人に聞

きますと、オベ

レーターが替わ

るそうなんです。A社のクレーン車が契約されていても、ずっとそのクレーン車が居るかということでは無いらしいんです。今居る人は次の現場に行つて、次はB社から入ってくる、あるいはA社でも別の人が入ってくる。そうすると、現場というのは狭いですから置き場所が日々変わってしまう。それに対応できずに、アウトリガーを掛けるところを間違つてひっくり返してしまう、などのパターンがほとんどらしいんですよ。

それも連携で変わりますよね。

—そうなんです。実際の作業指示者の方との連携がとれずに、見えないところで作業をしていて、サインが出たと勘違いして吊つたら、そのまま落ちたとか、引っ張られたとか、引っかったとか、いろいろ起きる。それは全部連携不足で、現場の方も相当苦慮されていたとか……、頭を悩まされていました。





それって、せっかくの技術を活かしきれず、もったいない話ですよ。

—ほんとうにもったいない話です。

不注意からの怪我だけでなく、死亡事故につながるケースもあるでしょうし、そうなる何よりもご家族の方々に對して本当に申し訳ない。

近年の異常気象への対応も含めて、生コン供給体制の拡充を希望。

—それでは最後になりますけど、社長のお考えで

結構ですので、普段コンクリートに対して感じていること、求めていること、今後期待したいこと。例えば、安定供給とか、よりよい品質にして欲しいとか……などをお聞きたいのですが。

会社としては、土木工事の割合は少なく建築工事が中心なので、コンクリートを使うとすれば基礎や外構のほかに、鉄筋コンクリート造の建物かと思うのですが、コンクリートメインの現場に関わることで自体が少ない、ということが気になっています。あとコンクリートの安定供給に関して言えば、日曜・祝日に出荷してもらえないことですね。特にGWやお盆休みの時期は、どこからも取れないことがありました。もちろん組織的な事情も、国民の休日も理解していますが、そういうときに工事を依頼されるケースもありますから。

—はい、はい、はい。

出荷してもらえない理由を聞くと、プラントの点検や機械修繕のためと言われるんですけど、そういうときこそ、業者間の連携や組合として「〇月〇日は、京都市内なら〇〇生コンで対応しています」というふうになって欲しいですね。

—はい、はい、はい。

そんなことができるようになれば……、とは思いますよね。

—供給がストップしますからね。

はい、これまでも大型連休のときに、工場の休日にあわせてラインの入替えや機械搬入のため

に、基礎などの工食用コンクリートが手配できず、手練りすることになって、前もって資材と職人を段取りしたりして大変なことに……。

—つまりコンクリートの供給体制が、もっと柔軟にならないか、ということですよ？

そうですね。ほかには先ほど話していたフレックスタイムの導入も、視野に入れていくべきではないでしょうか？真夏の炎天下のなかでの作業より、少し早い時間帯や少し遅めの時間帯に打設することで、解決することがあるのではないのでしょうか？ただし現場近隣との関係や安全性などの問題があるかとは思いますが、「この夏場に打設することは良くない」などの声を、業界からあげてもらうのもありかと思っています。

—分かりました。今日は、私自身すごく勉強になりました。大阪では聞けない話ですね。先ほどの供給体制の話ですが、社としての取り組みは、各社それぞれ変わってはきているんですけど、実際はと言いますと……。

なるほどそうですね……。やはり、すぐには難しそうですね。

見習いの子の30年後を見据える。

お客様にも伝統工法の良さを伝える。

—私もこの仕事に携わるようになってから、違和感を感じながらやっていたんですが、今日はこう

KURSコラム 『伝える』



いう貴重なお話をうかがえてうれしいです。

私も以前は、業界に関してそれほど気にしていませんでした。でも事業承継をしてから気にするようになって、調べてみると、30年前に比べて、大工さんの人数が約半分になっているそうです。

—そうですか、半減ですか？今は。

はい。かと言って、建築の仕事が半減しているかと言うとそうではなく、住宅供給に関してはピーク時の約160万戸が、現在では約90万戸となっています。でもリフォームなど、さまざまな仕事があるなか、このままでは間違いなく深刻な職人不足になると考えています。でもそんなかウチの会長は、見習い大工さんが仕事している姿を見て「30年後には、とっても貴重な存在になるからな」と肩を叩いていました。確かに職人が減少していくなかで、本物の大工として京町屋など手掛けられる人は、本当に貴重な存在になるでしょうね。

Aーなどの技術で、この業界もかなり変化していくとは思いますが、技術を持った人でしかできない仕事は残っていくと思います。

お客様との会話の中でも、「一緒に良い家造っていきましょう！」と話しますが、いざ仕上げる商品決めになると「人見さんにお任せします」と言われる。「私じゃなくて、お客様が住む家なので、面倒ですが一緒にしっかりと考えましょう」と言って相談にのります。



代表取締役会長の人見明氏は、今も建設現場に足を運び、職人に声をかける。

建売のように、一般向けの家を買うのではなく、家はお客さんと一緒に造るものなので、地鎮祭のときには、施主さんの家への思い入れを、必ず我々職人に伝えてもらうようにしています。それを聞いた職人達は、このお客様のために一生懸命に頑張ろうと思いますし、例えば急な悪天候のときでも、大切な家が濡れないように配慮ができる。しかし顔が見えないとそういったきめ細かな対応ができないと思います。

どの業種にも当てはまるとは思いますが、お客様

◎インタビュー
石川 健造
「結」副編集長

人見建設株式会社

〒604-0993
京都市中京区寺町夷川上ル
久遠院前町 686 番地

TEL 075-231-0713 (代表)

FAX 075-231-1227

URL: <http://www.hitomi-k.co.jp/>



〈経営理念〉

1. 住まいづくりを通して、世の中のお役に立ちます。
2. 社員の生きがいある人生を実現します。
3. 限りなき挑戦を大切にします。

満足度を高めようと思うと、従業員満足が満たされなければ達成できない。そのためには従業員みんながやりがいを感じる会社に、そして業界にしていきたいと思います。

—本日は、貴重なお話を聞かせて頂きまして、本当にありがとうございました。

よくわかる!!

労働法ゼミナール

Lesson 4『休息时间』

Lesson3 では、『休憩時間』を学びましたが、『休息时间』とは、何のことをさすのか、どのような時間帯のことをさすのかを理解しておきましょう。

?『休息（きゅうそく）時間』とは？

『休息时间』は、法律に定めはありません。そのため、任意に会社が就業規則に規定したり、運用上で採用していたりすることが多く、その程度や態様もさまざまです。

一般的に『休息时间』は、待機時間や手待ち時間など、すぐ仕事を始められる時間のことを指します。

ドライバー業種ではこれとは別に、今の拘束時間（就業時間）から次の拘束時間（就業時間）までの自

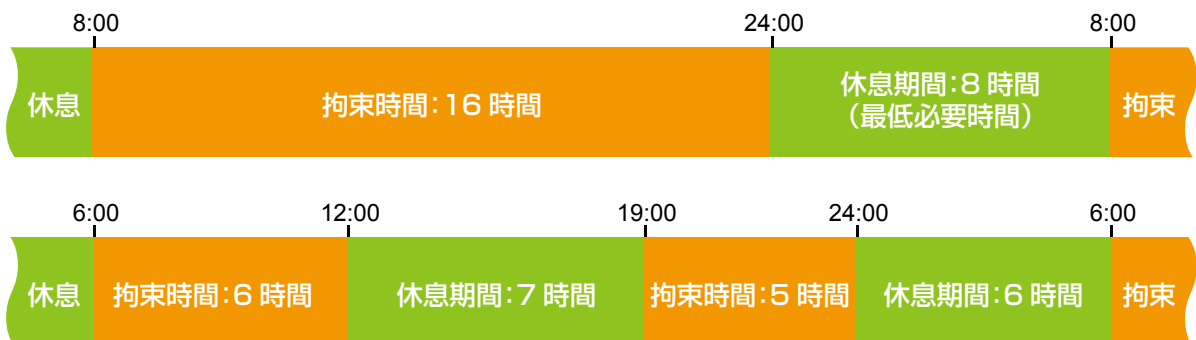
由時間＝『休息时间』として、「休息期間」を設けなければなりません。

1 日の「休息期間」は原則、連続 8 時間以上与えられなければなりません。

ドライバーの 1 日の拘束時間の上限は 16 時間とされています。それは、最低でも連続 8 時間の休息が必要になるためです。「24 時間－16 時間＝8 時間」

休息期間

拘束時間（就業時間）から次の拘束時間までの自由時間



連続 8 時間以上の「休息期間」を与えることが困難な場合は、特例として、1 日において 1 回当たり連続 4 時間以上、合計 10 時間以上の分割した「休息期間」を設定できる

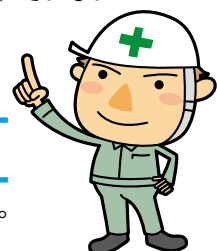
■違法となる例



- ・連続した休息が 4 時間以上与えられていない
- ・1 日合計の休息期間が 10 時間以上与えられていない

雇用する側もはたらく側も、はたらくルールをよく知り、安全で快適な職場環境をめざしましょう。

※ご質問・ご意見などがありましたら、KURS までお問い合わせください。



大阪兵庫生コンクリート工業組合

164 社



理事長 木村 貴洋

〒 530-0001 大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第3ビル 4F 5号
TEL 06-6344-5231 / FAX 06-6344-7705

一般社団法人西日本建設関連オーナー会

220 社

会長 菅生 行男

〒 541-0048 大阪市中央区瓦町 2 丁目 4 番 7 号 新瓦町ビル 4 階
TEL 06-6222-5102 / FAX 06-6222-5103

和歌山県生コンクリート工業組合

63 社

理事長 丸山 克也

〒 641-0036 和歌山県和歌山市西浜 1660 番地 291
TEL 073-445-0377 / FAX 073-445-3524

大阪府砂利石材協同組合

40 社

理事長 千石 高史

〒 530-0003 大阪市北区堂島 2 丁目 1 番 27 号 桜橋千代田ビル 5 階
TEL 06-6344-5572 / FAX 06-6344-5574

神戸みなと建設協議会

28 社

会長 山田 高広

〒 654-0049 神戸市須磨区若宮町 1 丁目 1 番 6 号
TEL 078-731-1830 / FAX 078-732-2920

大阪広域輸送協同組合

ミキサー部会 44 社 バラセメント部会 28 社

理事長 浦野 正国

〒 541-0048 大阪市中央区瓦町 2 丁目 4 番 7 号 新瓦町ビル 3 階
TEL 06-4394-7220 / FAX 06-4394-7221

関西圧送協同組合

17 社

理事長 清田 正春

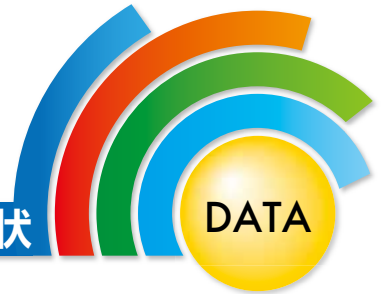
〒 652-0866 神戸市兵庫区遠矢浜町 5-20 2F
TEL 078-686-0236 / FAX 078-686-0246

2018 年 10 月解散

近畿生コン輸送協同組合

全国生コンクリート工業組合連合会 全国生コンクリート協同組合連合会 大阪広域生コンクリート協同組合

生コンクリート産業の現状



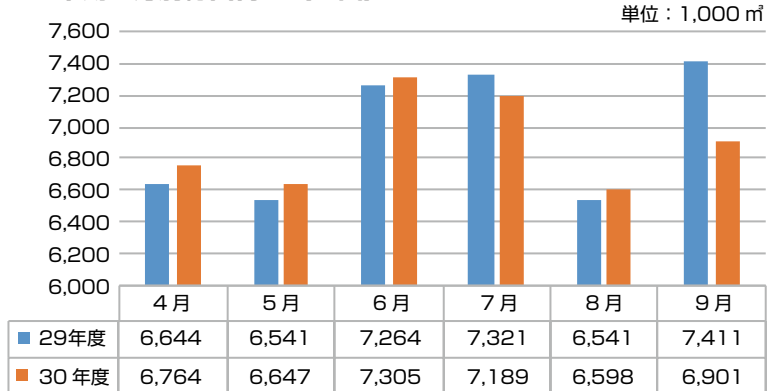
2018年度生コン上半期 9月に失速し出荷減

■2018年度4～9月の生コン出荷（全国）

	出荷量	前年比
総合計	41,404,966	99.2%
組合員	36,730,000	100.1%
非組合員	4,674,966	93.1%
官公需	16,080,527	96.7%
民需	25,324,439	100.9%

全国生コン両連合会が10月26日発表した2018年度上半期（4月～9月）の生コン出荷量（非組合員は推定）は前年同期比0.8%減の4140万5千㎡となった。8月末まではプラス圏で推移していたが、9月に入り台風21号などで天候不順に見舞われたこと、北海道胆振（いぶり）東部地震による停電で出荷停止を余儀なくされたため。官公需は3.3%減の1608万1千㎡で前年のプラスからマイナスに転じた一方で、民需は0.9%増の2532万4千㎡で、上半期としては2年連続のプラスとなった。

■上半期の月別総出荷量（全国）

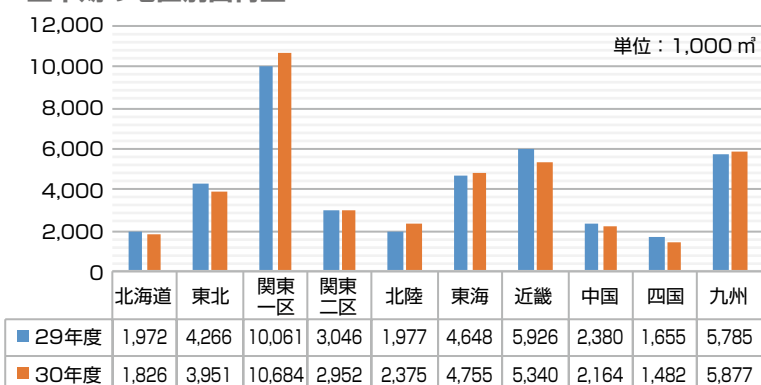


地区別の出荷は関東一区、北陸、東海、九州の4地区で増加した。最も伸びが高かったのは北陸で20.1%増の237万5千㎡だった。新幹線工事が出荷のけん引役となっている。福井は58.9%増の65万2千㎡と急伸したほか、石川も10%増の39万8千㎡となった。関東一区は東京オリンピック関連施設工事や再開発などが出荷を押し上げている。九州では熊本地震復興工事や福岡の民需などが出ている。

一方で四国の生コン出荷は全県で前年割れの厳しい需要環境が続いている。全生連四国地区本部がまとめた4～9月の組合員出荷量は前年同期比10.3%減の148万2千㎡だった。各県とも出荷をけん引する大型プロジェクトが少ないことに加えて、公共事業が低調だった。なお、最も減少幅が大きいのは愛媛で、12.7%減の51万2千㎡だった。

全生連では今年度の出荷を前年比2.7%減の8150万㎡と予想しているが、上期が前年割れとなったことを踏まえたうえで需要想定を見直すとしている。

■上半期の地区別出荷量



東北：青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島
 関東一区：埼玉、千葉、東京、神奈川
 関東二区：茨城、栃木、群馬、長野、山梨
 北陸：新潟、富山、石川、福井
 東海：静岡、岐阜、愛知、三重
 近畿：滋賀、奈良、京都、大阪兵庫、和歌山
 中国：岡山、広島、山口、島根、鳥取
 四国：徳島、香川、愛媛、高知
 九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

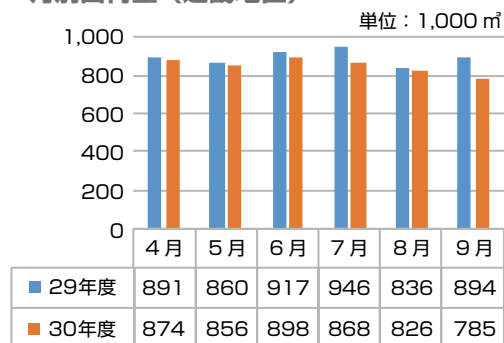
大阪兵庫の減少大きく

大阪・兵庫、京都、和歌山、滋賀、奈良の近畿2府4県で組織する近畿地区本部工組員合計の18年度上半期生コン出荷量は前年同期比4.5%減の510万㎡。工組別では大阪兵庫359万㎡(9%減)、京都65万㎡(12%増)、滋賀31万㎡(4%増)、和歌山32万㎡(9%増)、奈良23万㎡(4%減)と地域差がある一方で、地区全体で値戻しが進展する。

■2018年度4～9月の生コン出荷（近畿）

	出荷量	前年比
総合計	5,107,521	95.6%
大阪兵庫	3,591,751	91.4%
滋賀	311,884	103.9%
奈良	233,821	96.5%
京都	647,591	112.6%
和歌山	322,474	109.0%
組員	4,994,640	99.4%
非組員	112,881	—
官公需	1,691,267	90.1%
民需	3,416,254	90.0%

■月別出荷量（近畿地区）



大阪広域協組 通期予想は下方修正

広域協組12ブロック合計の年度上半期出荷実績は350万7千㎡と、計画比18万5千㎡程度減少し通期予想を705万㎡に下方修正した。大阪6ブロックは500万㎡に据え置いたが、兵庫6ブロックは神戸製鋼の火力発電所の着工遅れにより期初予想の約8割の209万㎡としている。来年度からの新価格は5%程度の需要減を織り込んで設定したが、減少幅が大きくなれば構造改革や合理化を加速せざるを得ない。

需要環境は厳しく生コン価格の上昇でRC造からS造へのシフトが進み高強度コンクリートのプレキャスト化も図られている。

鋼材の値段が上昇しておりRC造への揺り戻しを期待するとともに、土木でもプレキャスト活用がみられており現場打ち生コンの特徴をPRしていくことが求められる。

大型物件では新名神高速道路の延伸工事や新名神開通に伴う物流施設建設があり、大阪市内ではマンションやホテルの建設需要は旺盛で、大阪万博（万国博覧会）の開催が決定すれば需要の起爆剤となる。

なる。国土強靱化のインフラ整備も必要だ。台風による停電被害が多発しており電線共同溝方式による無電柱化の推進に合わせ、コンクリート舗装を採用してもらいたい。

大阪広域協組 2019年度の販売価格

2019年度4月から建値を㎡あたり2万1800円とし、各ブロックの状況をみながら弾力的に浸透を図る。人件費やプラントの設備投資費用の確保、セメントや骨材等の原材料価格、輸送費の上昇を転嫁し、安定的に利益の得られる価格水準とするのが目的。材料検証委員で必要なコストを積み上げた適正な価格であり、公正取引員会にも随時報告を実施している。新価格を浸透させることで3年前の協組の大同団結以来の値戻しが完了する。来年度以降は新価格のもとで各社の自助努力による経営改善を促していく。

（セメント新聞2018年10月29日）
木村理事長インタビューより

大阪広域生コンクリート協同組合

164社 191工場

中央ブロック / 北ブロック / 東部ブロック / 西ブロック / 南ブロック / 阪南ブロック /
北摂ブロック / 神戸ブロック / 播磨ブロック / 淡路ブロック / 北神ブロック / 兵庫西部ブロック



私たちは、お届けする生コンの品質を保証するため、独自のブランドを立ち上げました。

それが「コンクリード®」。

業界をリードするという自負のもと、ユーザーや社会の信頼に応えるべく、4つの理念

品質保証・安定供給・適正価格・社会貢献

に基づく良質な生コンクリートをお届けしています。



理事長 木村 貴洋

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2丁目4番7号 新瓦町ビル5階
TEL 06-6222-5661 / FAX 06-6222-5662

中央ブロック

大阪アサノコンクリート (株) 津守工場	〒557-0063	大阪市西成区南津守 2-1-90	TEL 06-6651-1601
(株) アップワン	〒551-0021	大阪市大正区南恩加島 5-14-2	TEL 06-6555-3939
(株) 岡本建材	〒554-0052	大阪市此花区常吉 2-5-51	TEL 06-6463-9692
(株) 岡本生コンクリート 本社工場	〒554-0052	大阪市此花区常吉 2-2-27	TEL 06-6462-5803
(株) 岡本生コンクリート 港工場	〒552-0013	大阪市港区福崎 1-3-41	TEL 06-6574-3061
(株) 関西宇部 北港工場	〒552-0022	大阪市港区海岸通 4-2-23	TEL 06-4395-9300
(株) 関西宇部 港工場	〒552-0022	大阪市港区海岸通 4-2-23	TEL 06-6575-1414
(有) さくら生コン	〒559-0011	大阪市住之江区北加賀屋 3-1-5	TEL 06-6684-3939
(株) 千石 大阪工場	〒554-0012	大阪市此花区西九条 2-14-27	TEL 06-6463-0300
(株) 千石 此花工場	〒554-0012	大阪市此花区西九条 7-1-6	TEL 06-6463-0300
(株) 中央大阪生コン 本社工場	〒557-0062	大阪市西成区津守 3-6-1	TEL 06-6656-0055
(株) 中央大阪生コン 木津川工場	〒557-0062	大阪市西成区津守 1-14-34	TEL 06-6656-0055
(株) 八光 なみはや工場	〒551-0023	大阪市大正区鶴町 4-12	TEL 06-6552-8519
(株) 八光 鶴町工場	〒551-0023	大阪市大正区鶴町 4-1-20	TEL 06-6556-3785
極東一生コンクリート (株) 本社工場	〒557-0062	大阪市西成区津守 1-14-12	TEL 06-6568-3900
五洋一生コンクリート工業 (株) 本社工場	〒557-0062	大阪市西成区津守 1-14-10	TEL 06-6568-5411
新関西菱光 (株) 大阪工場	〒552-0013	大阪市港区福崎 1-2-8	TEL 06-6576-1131

中央ブロック			
新泉生コン（株）春日出工場	〒 554-0012	大阪市此花区西九条 7-3-2	TEL 06-6462-8701
大黒生コンクリート（株）	〒 554-0052	大阪市此花区常吉 2-2-25	TEL 06-6462-1000
築港生コンクリート（株）本社工場	〒 552-0013	大阪市港区福崎 2-10-14	TEL 06-6571-5557
ツルガ生コンクリート工業（株）本社工場	〒 554-0052	大阪市此花区常吉 2-2-27	TEL 06-6462-5803
阪神生コン建材工業（株）本社工場	〒 557-0062	大阪市西成区津守 3-6-25	TEL 06-6659-0912
阪南産業（株）港工場	〒 552-0022	大阪市港区海岸通 3-4-82	TEL 06-6599-0005
報栄生コン（株）本社工場	〒 559-0025	大阪市住之江区平林南 2-10-50	TEL 06-6682-1053
北ブロック			
大阪アサノコンクリート（株）淀川工場	〒 553-0014	大阪市東淀川区豊新 2-14-9	TEL 06-6328-6992
（株）永和商店 第一工場第二工場	〒 553-0022	大阪市東淀川区菅原 4-6-23	TEL 06-6329-9527
（株）江坂資材 摂津工場	〒 567-0865	茨木市横江 2-8-13	TEL 072-636-0112
（株）関西宇部 吹田工場	〒 533-0006	大阪市淀川区上新庄 1-2-14	TEL 06-6327-1000
（株）ワールド	〒 567-0853	茨木市宮島 3-3-27	TEL 072-634-7177
北大阪菱光コンクリート工業（株）箕面工場	〒 562-0026	箕面市外院 1-1-4	TEL 072-729-2041
新大阪生コンクリート（株）本社工場	〒 567-0053	茨木市豊原町 7-6	TEL 072-643-6781
新三和生コン（株）本社工場	〒 569-0023	高槻市松川町 11-7	TEL 072-675-5585
ダイワN通商（株）高槻工場	〒 569-0831	高槻市唐崎北 2-23-11	TEL 072-677-1377
中央コンクリート（株）本社工場	〒 553-0022	大阪市淀川区菅原 4-6-17	TEL 06-6329-2231
ナニワ生コン（株）本社工場	〒 567-0057	茨木市豊川 3-7-10	TEL 072-643-0963
藤原生コン（株）本社工場	〒 567-0027	茨木市西田中町 2-31	TEL 072-622-4988
（有）植田生コンクリート工業 本社工場	〒 569-0831	高槻市唐崎北 2-1-2	TEL 072-677-6339
（有）西半生コン 本社工場	〒 567-0072	茨木市郡 4-8-1	TEL 072-641-5935
（有）フレッシュコンクリート	〒 556-0052	摂津市鳥飼本町 2-8-29	TEL 072-653-3823
東部ブロック			
大阪大進生コンクリート（株）本社工場	〒 577-0835	東大阪市柏田西 2-16-20	TEL 06-6728-8016
（株）稲田已建材	〒 579-8001	東大阪市善根寺町 4-6-31	TEL 072-984-0227
（株）大阪こーさい	〒 547-0003	大阪市平野区加美南 4-4-51	TEL 06-6795-5531
（株）オクノナマコン 第一・第二工場	〒 576-0051	交野市倉治 6-44-1	TEL 072-891-1112
（株）オーシャン 平野工場	〒 547-0048	大阪市平野区馬場 1-3-9	TEL 06-6793-8788
（株）光和	〒 581-0845	八尾市上之島町北 6-15	TEL 072-928-2626
（株）五一	〒 577-0848	東大阪市岸田堂西 2-2-14	TEL 06-6728-8686
（株）サン生コン	〒 572-0075	寝屋川市葛原 1-31-11	TEL 072-815-0100
（株）三友生コン	〒 572-0855	寝屋川市寝屋南 2-13-16	TEL 072-821-6019
（株）長谷川建材	〒 571-0017	門真市四宮 1-2-28	TEL 072-881-5104
（株）八光 加美工場	〒 547-0001	大阪市平野区加美北 5-10-10	TEL 06-6793-6458
加美コンクリート（株）本社工場	〒 547-0003	大阪市平野区加美南 1-7-8	TEL 06-6792-2255
三和生コン（株）本社工場	〒 581-0036	八尾市沼 4-72	TEL 072-948-1133
タイコー（株）枚方工場	〒 573-0064	枚方市北中振 4-10-3	TEL 072-831-4421

東部ブロック			
寝屋川コンクリート（株）本社工場	〒 572-0039	寝屋川市池田 2-11-62	TEL 072-829-6261
東大阪大進生コンクリート（株）本社工場	〒 578-0982	東大阪市吉田本町 1-2-40	TEL 072-962-2525
堀之内建材（株）本社工場	〒 573-0001	枚方市田口山 1-16-1	TEL 072-850-3900
守口菱光（株）	〒 570-0043	守口市南寺方東通 6-14-10	TEL 06-6996-9001
（有）大久保建材生コン 門真生コン	〒 571-0076	門真市大池町 16-18	TEL 072-886-0002
（有）大久保建材生コン 寝屋川枚方生コン 第一・第二工場	〒 572-0088	寝屋川市木屋元町 8-6	TEL 072-835-9999
西ブロック			
伊丹コンクリート工業（株）	〒 664-0845	伊丹市東有岡 4-15	TEL 072-782-8076
稲葉生コンクリート（株）	〒 660-0085	尼崎市元浜町 1-75-1	TEL 06-6419-5511
今津生コン（株）本社工場	〒 660-0832	尼崎市東初島町 3	TEL 06-6489-3801
海山コンクリート（株）宝塚工場	〒 665-0825	宝塚市安倉西 1-206-1	TEL 0797-87-7581
海山コンクリート（株）西宮工場	〒 669-1101	西宮市塩瀬町生瀬字赤子谷 1137	TEL 0797-85-1244
（株）旭生コン 本社工場	〒 661-0953	尼崎市東園田町 7-51-1	TEL 06-6497-3333
（株）天城建材センター 本社工場	〒 660-0845	尼崎市西高洲町 16-22	TEL 06-6419-7701
（株）江坂資材 吹田工場	〒 564-0054	吹田市芳野町 2-21	TEL 06-6339-3663
（株）大浜資材	〒 660-0095	尼崎市大浜町 1-18-2	TEL 06-6430-6672
（株）北大阪生コン	〒 532-0001	大阪市淀川区十八条 3-12-14	TEL 06-6393-1357
（株）北口商店 本社工場	〒 561-0856	豊中市穂積 2-6-7	TEL 06-6863-0935
（株）協和東海岸コンクリート	〒 660-0843	尼崎市東海岸町 1-14	TEL 06-6409-6241
（株）啓徳	〒 662-0934	西宮市西宮浜 1-1-1	TEL 0798-35-7500
（株）テシマ鍛冶生コン 川西工場	〒 666-0022	川西市下加茂 2-77-2	TEL 072-755-4469
（株）博田商店	〒 662-0934	西宮市西宮浜 3-22	TEL 0798-22-7701
（株）藤田建材店 大浜工場	〒 660-0095	尼崎市大浜町 1-19?4	TEL 06-6413-8118
（株）丸正建材生コン	〒 562-0015	箕面市稲 3-9-6	TEL 072-723-1353
（株）大和生コン	〒 662-0934	西宮市西宮浜 1-16	TEL 0798-26-4600
（株）ライフコンクリート工業	〒 664-0842	伊丹市森本 8-96-1	TEL 072-780-3300
新関西菱光（株）尼崎工場	〒 660-0842	尼崎市大高洲町 5	TEL 06-6409-1251
新淀生コンクリート（株）本社工場	〒 555-0041	大阪市西淀川区中島 2-9-82	TEL 06-6471-4456
谷畑産業（株）	〒 563-0035	池田市豊島南 1-12-9	TEL 072-763-3071
司コンクリート（株）	〒 563-0043	池田市神田 2-19-17	TEL 072-752-0906
とどろみ鉱業（株）本社工場	〒 563-0252	箕面市下止々呂美 672-1	TEL 072-739-2900
豊中レミコン（株）本社工場	〒 561-0891	豊中市走井 2-11-10	TEL 06-6853-0661
ナニワ生コン（株）尼崎工場	〒 661-0982	尼崎市食満 2-24-15	TEL 06-4960-2388
宮本生コン（株）本社工場	〒 561-0846	豊中市利倉東 1-16-1	TEL 06-6863-2531
ムラタ生コン（株）	〒 562-0044	箕面市半町 3-14	TEL 072-722-5358
（有）ミトミ建材センター	〒 661-0026	尼崎市水堂町 4-5-30	TEL 06-6436-3081
（有）武庫川生コン 本社工場	〒 662-0934	西宮市西宮浜 2-34-5	TEL 0798-35-6058
（有）明伸コンクリート	〒 663-8142	西宮市鳴尾浜 1-6-2	TEL 0798-44-3930

南ブロック			
和泉生コンクリート（株）本社工場	〒 598-0048	泉佐野市りんくう往来北 1-15	TEL 072-462-3901
（株）エヌ・エヌ・シー	〒 596-0113	岸和田市河合町 1396-1	TEL 072-447-1340
（株）国土一	〒 596-0015	岸和田市地蔵浜町 11-1	TEL 072-423-5900
（株）西野建材 本社工場	〒 596-0802	岸和田市西大路町 218-1	TEL 072-443-0891
山洋コンクリート（株）	〒 598-0002	泉佐野市中庄 1070	TEL 072-463-0661
昭和産業（株）本社工場	〒 598-0034	泉佐野市長滝 3647	TEL 072-466-7007
橋本生コンクリート	〒 598-0071	泉佐野市鶴原 3-12-18	TEL 072-462-1538
（有）イーコン	〒 596-0012	岸和田市新港町 16-1	TEL 072-430-6653
阪南ブロック			
大阪アサノコンクリート（株）泉北工場	〒 592-0001	高石市高砂 1-11	TEL 072-268-1212
（株）エスシー産業	〒 587-0011	堺市美原区丹上 330-5	TEL 072-363-5569
（株）戎生コン 第一・第二工場	〒 593-8312	堺市西区草部 1263-1	TEL 072-275-1100
（株）大宇宙産業	〒 585-0012	南河内郡河南町加納	TEL 0721-93-8451
（株）岡本生コンクリート	〒 590-0136	堺市南区美木多上 1788-1	TEL 072-296-8000
（株）関西西部 堺工場	〒 592-8332	堺市西区石津西町 15-2	TEL 072-241-0461
（株）西井商店堺臨海生コン 本社工場	〒 592-8331	堺市西区築港新町 1-5-1	TEL 072-241-0764
（株）阪南大阪生コン	〒 599-8102	堺市東区石原町 1-16	TEL 072-254-2041
（株）北栄産業	〒 594-1112	和泉市三林町 547-1	TEL 0725-56-6330
（株）モトヤマ 眞龍生コン	〒 590-0986	堺市堺区北波止町 42-40	TEL 072-282-1222
旭光コンクリート工業（株）	〒 585-0001	南河内郡河南町東山 725-1	TEL 0721-93-6478
堺レミコン（株）本社工場	〒 590-0987	堺市堺区築港南町 8	TEL 072-221-3013
新関西菱光（株）泉北工場	〒 595-0075	泉大津市臨海町 1-46	TEL 0725-21-1136
泉北コンクリート工業（株）本社工場	〒 592-0001	高砂市高砂 2-8	TEL 072-268-1061
菱木生コン（株）	〒 593-8314	堺市西区太平寺 338	TEL 072-273-7551
富士上新生コン（株）	〒 590-0906	堺市堺区三宝町 9-417-2	TEL 072-223-9911
南大阪大進生コンクリート（株）本社工場	〒 583-0991	南河内郡太子町春日 357	TEL 0721-98-2727
美和生コンクリート（株）	〒 587-0022	堺市美原区平尾 2365-1	TEL 072-361-6960
（有）コーシンコーポレーション 山政生コン	〒 587-0022	堺市美原区平尾 2365-1	TEL 072-369-7282
北摂ブロック			
猪名川菱光（株）	〒 666-0252	川辺郡猪名川町広根字神子ノ辻 7-1	TEL 072-766-0270
（株）協栄建設	〒 666-0252	川辺郡猪名川町広根字神子ノ辻 14-4	TEL 072-766-0606
神戸ブロック			
伊万里建材（株）	〒 651-2126	神戸市西区玉津町上池 255-1	TEL 078-911-6463
SSK ロイヤル（株）	〒 651-2223	神戸市西区押部谷町木見 812-3	TEL 078-994-6000
（株）上田組生コン事業部	〒 651-2257	神戸市西区平野町中津 932	TEL 078-928-6630
（株）関西西部 神戸工場	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 41-1	TEL 078-431-3801
（株）北神戸生コン	〒 651-1101	神戸市北区山田町小部字妙賀 11 番地 3	TEL 078-592-7175
（株）光栄 神戸工場	〒 651-1243	神戸市北区山田町下谷上字下の勝 13-1	TEL 078-581-1240

神戸ブロック			
(株) 神戸エスアールシー	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 42	TEL 078-411-3123
(株) サンコー	〒 655-0861	神戸市垂水区下畑町 242	TEL 078-751-6437
(株) 泉北ニシイ 兵庫工場	〒 653-0033	神戸市長田区苅藻島町 1-1-31	TEL 078-671-0835
(株) 泰慶	〒 651-2142	神戸市西区玉津町二ツ屋 99-5	TEL 078-917-3440
(株) 溝尾 六甲生コン第 2 工場	〒 658-0042	神戸市東灘区住吉浜町 6	TEL 078-811-0461
(株) 明神コーポレーション	〒 651-2122	神戸市西区玉津町高津橋 703 番地の 1	TEL 078-912-8181
(株) ライブコンクリート	〒 651-2312	神戸市西区神出町南 621 番地の 14	TEL 078-965-2890
タイコー (株) 兵庫工場	〒 652-0866	神戸市兵庫区遠矢浜町 2-48	TEL 078-651-2323
千原生コンクリート (株) 神戸工場 II	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 36-8	TEL 078-436-8110
阪神生コン建材工業 (株) 神戸工場	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 27-24	TEL 078-413-2200
東神戸大阪生コンクリート (株)	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 2-1	TEL 078-413-1321
兵協生コンクリート (株)	〒 652-0866	神戸市兵庫区遠矢浜町 2-48	TEL 078-651-1133
兵庫播磨コンクリート (株) 神明工場	〒 651-2143	神戸市西区丸塚 2-3-12	TEL 078-928-3053
播磨ブロック			
稲垣建材産業 (株)	〒 675-1362	小野市久保木町 1835	TEL 0794-63-2759
植田商事 (株) ((株) 姫路ユーエヌシー)	〒 672-8035	姫路市飾磨区中島 3059-13	TEL 079-235-4157
岡田建材 (株)	〒 675-1102	加古郡稲美町草谷 59-47	TEL 079-495-1788
尾上生コン (株)	〒 675-0025	加古川市尾上町養田 1577	TEL 079-423-0945
片岡生コン (株)	〒 679-3112	神崎郡神河町鍛冶 134-1	TEL 0790-34-0203
(株) ニシハリマ宇部 ((株) 姫路ユーエヌシー)	〒 672-8035	姫路市飾磨区中島 3059-13	TEL 079-235-4156
(株) 林建材店 生コン部	〒 675-0023	加古川市尾上町池田開拓 1951	TEL 079-423-1432
(株) 播州生コン	〒 675-1203	加古川市八幡町下村 1233-1	TEL 079-438-0357
(株) 兵庫生コン	〒 679-2215	神崎郡福崎町西治 137-1	TEL 0790-22-3748
高砂菱光コンクリート工業 (株)	〒 675-0023	加古川市尾上町池田 2075	TEL 079-423-2033
滝野生コン (株)	〒 679-0221	加東市河高 89	TEL 0795-48-3075
大開産業 (株)	〒 673-0723	三木市加佐字草荷野 1251-1	TEL 0794-63-9090
(株) ヒメコン (旧中西建材)	〒 679-2143	姫路市香寺町中仁野 446	TEL 079-232-0499
姫路大阪生コンクリート (株)	〒 672-8035	姫路市飾磨区中島 3059-7	TEL 079-234-1981
姫路西部生コン (株)	〒 671-1132	姫路市大津区勘兵衛町 4-35-1	TEL 079-230-1600
姫路菱光コンクリート (株)	〒 671-1132	姫路市大津区勘兵衛町 4-35-1	TEL 079-239-5611
兵庫播磨コンクリート (株) 東播工場	〒 676-0072	高砂市伊保港町 2-8-23	TEL 079-447-1534
双葉生コン (株)	〒 675-2312	加西市北条町北条 567	TEL 0790-42-0275
フラワー生コン (株)	〒 675-2231	加西市王子町 597-124	TEL 0790-48-2949
マツバ商事 (株) 高砂生コン	〒 676-0031	高砂市高砂町向島町 1474-25 (事務所 34)	TEL 079-442-3912
(有) 柴田商店 柴田生コン	〒 671-2244	姫路市実法寺字五反田 57-1	TEL 079-266-3666
友善生コンクリート (株)	〒 671-0221	姫路市別所町別所 982	TEL 079-252-8880
友善生コンクリート (株) 広畑工場	〒 671-1123	姫路市広畑区富士町 1	TEL 079-239-2539

淡路ブロック			
淡路生コンクリート工業（株）	〒 656-0473	南あわじ市市小井 440	TEL 0799-42-2271
淡路生コン工業（株）	〒 656-2132	淡路市志筑新島 2-5	TEL 0799-62-0421
（株）北淡建設 北淡路生コン工場	〒 656-1743	淡路市斗ノ内 1407-2	TEL 0799-82-1000
第一生コン（株）本社工場	〒 656-0511	南あわじ市賀集八幡 48	TEL 0799-54-0921
第一生コン（株）津名工場	〒 656-2132	淡路市志筑新島 1-10	TEL 0799-62-3500
兵庫コンクリート（株）	〒 656-0426	南あわじ市榎列大榎列 808-1	TEL 0799-42-2210
北神ブロック			
海山コンクリート（株）神戸工場	〒 651-1312	神戸市北区有野町有野字南尾 3842	TEL 078-982-8613
エスブレイスコンクリート（株）（旧新生コンクリート）	〒 669-1357	三田市東本庄 2250-1	TEL 079-568-1851
（株）三田生コン	〒 673-1234	三木市吉川町福吉 340	TEL 0794-72-1250
北神戸コンクリート（株）	〒 673-1121	三木市吉川町米田 336	TEL 0794-72-1300
サンセイ生コンクリート	〒 651-1412	西宮市山口町下山口 1651-1	TEL 078-904-3691
三田宇部コンクリート（株）	〒 651-1504	神戸市北区道場町平田 1089	TEL 078-951-6931
兵庫西部ブロック			
赤穂生コン（株）	〒 678-0239	赤穂市加里屋 968-5	TEL 0791-43-2266
揖保川生コンクリート（株）	〒 679-4156	たつの市揖保町揖保上 384-3	TEL 0791-67-8121
金海興業 相生コンクリート	〒 678-0072	相生市亀泉町 300-1	TEL 0791-22-3381
（株）岸本組 一宮生コンクリート	〒 671-4131	宍粟市一宮町安積 1400-8	TEL 0790-72-0282
龍野生コンクリート（株）	〒 679-4315	たつの市新宮町井野原 618	TEL 0791-75-0281
田中工業（株）	〒 671-2542	宍粟市山崎町船元 15-1	TEL 0790-62-4116
播磨土建工業（株）	〒 678-1223	赤穂郡上郡町釜島 334-1	TEL 0791-52-0098
船曳土木興業（株）	〒 679-5307	佐用郡佐用町円応寺 494-18	TEL 0790-82-2938
山崎生コン（株）	〒 671-2544	宍粟市山崎町千本屋 135	TEL 0790-62-2777

業界のさらなる発展のために。

安全で安心な魅力ある業界をめざし、基礎知識を学ぶ。

200名を超える労働者が、レベルアップを目指す。

2018年11月23日、大阪市中央区のエル・おおさか南館南ホールに於いて、KURS（近畿生コン関連協議会）主催、一般社団法人西日本建設関連オーナー会協賛の第1回「安全対策講習会」が開催された。

この講習会は、KURSおよび労供連に加盟する、すべての労働者の皆さんを対象にして、安全運行を遂行するために、意識や知識のレベルアップをしていただく目的で開催された。今後、年4回開催する予定だ。

当日は200名を超える受講者が参加、用意した席が足りないほどの盛況だった。

開催に先立って、KURS議長の岡本幹郎氏は、生コン業界における労働組合のこれまでの経緯を述べた後、「（前略）連帯排除のなか、いま業界の軸がひとつになっていますけど、今まさに我々の労働運動の真価が問われています。ここに居られる4労組、さらに労供連の関係の仲間が8団体あるわけですけど、力をあわせて、激動の情勢のなかで、ひとつひとつやれることを、身近なことから対応を図っていくと確認し合っております。



当日配布された資料（写真上）と安全講習受講証（写真左）。今後、就業にあたって、必須の資格になっていくだろう。



（中略）KURSも来月には総会を予定しておりますが、過去・現在・未来を見据えて、新たな運動構築を、関係4労組、加えて関係8団体との協調を深めて、あたりまえの労働組合、働く人のニーズに応える労働組合として頑張っていこうとしています。

今日は講師の方々にもご苦労いただいて、身近なテーマについて、2時間にわたって勉強をしていただくということになっています。

今後、こういう勉強の機会を、年4回はつくろうと考えておりますので、よろしく願っています。（後略）と、締めくくった。



元近畿生コン輸送協同組合 事務局長の 大西 孝氏。



大阪広域生コンクリート協同組合 技術部長の大藤 肇氏。

KURS レポート

第4回



会場では、200名を超える参加者が、熱心に学んだ。



開会の挨拶を行うKURS議長岡本 幹郎氏（写真上右）と、閉会の挨拶を行う安全対策講習会 実行委員長の寺岡 正幸氏（写真上左）。司会はKURS幹事の藤川 拓氏（写真下左）が行った。

生コンの基礎、安全運行など、身近なテーマを解説。

講習1は、大阪広域生コンクリート協同組合 技術部長の大藤 肇氏による「生コンクリートの品質等の基礎知識」だ。

内容は、コンクリートの材料から配合、製造などの専門的な知識について、ポイントを示しながら解説。さらには出荷・運搬、品質管理といった、ミキサー車ドライバーに直接関わる内容までをレクチャーしていただいた。

講習2は、元近畿生コン輸送協同組合 事務局長 大西 孝氏の「プラントからの安全運行及び荷積みから荷卸しまでの安全対策」だ。

講習内容は、まず基本理念の確認、そして1日の仕事の流れから各工程における遵守事項について解説。あわせて安全運転、安全作業の心得、点検整備、事故発生時の現場措置などまで、より身近な内容についてレクチャー。特にアルコールに関する意識や交通KYT（危険予知トレーニング）について詳しく学んだ。

最後は、KURS安全対策講習会 実行委員長の寺岡 正幸氏による「我々労働組合も頑張りますが、労働者の要求実現に向けて、技術やマナーの向上で付加価値を」との挨拶で閉会。参加者へのエールを贈るかたちで、今後の講習への期待へつなげた。

和歌山県広域生コンクリート協同組合

35工場

和歌山中央地区 / 橋本・伊都地区 / 有田・日高地区 / 紀南地区

代表理事 丸山 克也

〒642-0031

和歌山県海南市築地6番地17

TEL 073-483-1313 / FAX 073-483-0013

和歌山中央地区

株式会社上山商店	〒641-0014	和歌山県和歌山市毛見1436番地	TEL 073-445-5111
有限会社紀州生コン	〒640-0342	和歌山県和歌山市松原394番地	TEL 073-479-0740
株式会社酒直レミコン	〒640-8404	和歌山県和歌山市湊1334番地	TEL 073-431-1388
内海生コンクリート株式会社	〒642-0035	和歌山県海南市冷水325番地22	TEL 073-482-5251
環産業株式会社	〒640-8137	和歌山県和歌山市吹上3丁目4番15号	TEL 073-423-6246
杉山産業株式会社	〒640-8404	和歌山県和歌山市湊1342番地4	TEL 073-422-5031
和歌山共同建材株式会社	〒640-8404	和歌山県和歌山市湊1850番地	TEL 073-453-8902
株式会社大東陽 生コンクリート工場	〒640-6262	和歌山県和歌山市上三毛968	TEL 073-477-1171
株式会社大東陽 本社	〒640-8269	和歌山県和歌山市小松原通1丁目1番地(大岩ビル5F)	TEL 073-433-2225
紀ノ川大阪生コンクリート株式会社	〒649-6321	和歌山県和歌山市布施屋905-2	TEL 073-465-3670
第一生コンクリート株式会社	〒649-6262	和歌山県和歌山市上三毛968番地	TEL 073-477-3222

橋本・伊都地区

有限会社紀見生コンクリート	〒648-0091	和歌山県橋本市柱本234	TEL 0736-36-1070
紀北生コン株式会社	〒648-0086	和歌山県橋本市神野々1224-1	TEL 0736-33-1313
南海砂利株式会社	〒648-0043	和歌山県橋本市学文路191番地の2	TEL 0736-32-0464
有限会社橋本生コン	〒648-0091	和歌山県橋本市柱本40-1	TEL 0736-36-7077

紀南地区

株式会社清本組	〒649-2105	和歌山県西牟婁郡上富田町2053	TEL 0739-47-1241
株式会社下野商店	〒646-0057	和歌山県田辺市中芳養719-1	TEL 0739-24-1331
田辺小野田レミコン株式会社	〒646-0059	和歌山県田辺市古尾19番1号	TEL 0739-22-1090
田辺生コンクリート工業株式会社	〒643-0032	和歌山県有田郡有田川町天満15-5	TEL 0737-52-4370
紀伊生コン株式会社	〒644-0004	和歌山県御坊市名屋3丁目9-6	TEL 0738-22-0863
ワシン建設株式会社	〒646-0061	和歌山県田辺市上の山1丁目3番2号	TEL 0739-24-2678
株式会社宮脇組	〒646-1101	和歌山県田辺市鮎川609-5	TEL 0739-48-0059
有限会社きのくに生コン	〒646-0216	和歌山県田辺市下三栖1475-105	TEL 0739-25-9303
南紀田辺生コン有限責任事業組合	〒646-0216	和歌山県田辺市下三栖1475-105	TEL 0739-25-9303
南部生コン工業株式会社	〒645-0011	和歌山県日高郡みなべ町気佐藤657番地	TEL 0739-72-4314
有限会社西村砂利	〒645-0011	和歌山県日高郡みなべ町気佐藤657番地	TEL 0739-72-3681
日置川開発株式会社	〒649-2511	和歌山県西牟婁郡白浜町日置525番地	TEL 0739-52-2015

有田・日高地区			
有限会社印南生コンクリート	〒649-1522	和歌山県日高郡印南町古井 188-1	TEL 0738-45-0231
中津産業協同組合 中津生コン	〒644-1122	和歌山県日高郡日高川町高津尾 1606 番地の 1	TEL 0738-54-0339
日高生コンクリート株式会社	〒644-0025	和歌山県御坊市塩屋町北塩屋 676 番地	TEL 0738-22-1286
株式会社山久 由良生コンクリート工業所	〒649-1104	和歌山県日高郡由良町江ノ駒 448-6	TEL 0738-65-1133
株式会社セイシン・レミコン 工場	〒649-1221	和歌山県日高郡日高町大字志賀字岩戸 4339-1	TEL 0738-65-1777
株式会社セイシン・レミコン 本社	〒649-1111	和歌山県日高郡由良町里 376 番地の 10	TEL 0738-65-3534
美山生コンクリート株式会社	〒644-1201	和歌山県日高郡日高川町川原河 472 番地	TEL 0738-56-0345
株式会社セイシン・マテリアル 工場	〒644-0003	和歌山県御坊市島外川原 1093 番地	TEL 0738-23-2511
株式会社セイシン・マテリアル 本社	〒644-0011	和歌山県御坊市湯川町財部字東新田 1057 番 2	TEL 0738-23-1281
湯浅生コン株式会社	〒643-0004	和歌山県有田郡湯浅町湯浅 2977	TEL 0737-63-1141
スカイコンクリート	〒643-0614	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園新子 256-2	TEL 0737-26-0154

Information

yui 掲示板

2019 Jan.

大阪広域生コンクリート協同組合 平成 31 年新年互礼会

日時：平成 31 年 1 月 11 日（金） 11：30 開始

場所：ウェスティンホテル大阪

連合・生コン産業労働組合 2019 年年賀会

日時：平成 31 年 1 月 18 日（金） 18：00 開始

場所：ANA クラウンプラザホテル大阪

建交労関西支部 2019 年新春旗開き

日時：平成 31 年 1 月 18 日（金） 18：00 開始

場所：ホテル メルパルク大阪



Explore the building

建物探訪

Vol.03

大阪市中央公会堂

「水都大阪」を代表する景観を形成している中之島。大阪市中央公会堂（以降、公会堂）は、ネオ・ルネッサンス様式の歴史的建築物として、いつの時代も中之島のシンボルとなってきた。誰でも利用できる現役の公会堂でありながら、芸術性の高い建築物として国の重要文化財に指定されており、「最も格式高く、最も敷居が低い」文化財として、多くの人々に愛され親しまれている。

当時の建築技術の粋を集めて、
日本一の公会堂として誕生。

公会堂は、当時の一流建築家13名による設計コンクールで1等となった岡田信一郎氏の元案をもとに、東京駅などの設計で有名な辰野金吾氏と大阪工業大学創始者の片岡安氏が設計を担当。時は第1次世界大戦の最中、大正2年春に着工し、のべ18万4千人の職人と5年の歳月を経て大正7年10月に完成。翌11月17日に公開を行ったところ、日本一の公会堂を見ようと、3日間で約10万人の市民が訪れた。

構造は鉄骨煉瓦造で、当時1階の大集会室の上に食堂を配置するための鉄骨の梁をかける難工事を、責任者の片岡安氏は、「落ちてきたらともに死ぬ」覚悟で見守ったという。各部屋の意匠、ステンドグラス、シャンデリア、階段や扉のデザインにまで、当時の建築技術の粋を集めた公会堂は、日本一の公会堂として、近代大阪の文化・社会史に深く関わってきた。



特別室の天井には古事記をモチーフにした「天地開闢（かいびやく）」が（写真左）。
提供：大阪市中央公会堂



華麗で堂々とした外観が、今も大阪市民を魅了しています。
提供：大阪市中央公会堂

【建物概要】

名称	大阪市中央公会堂
用途	公会堂
設計者	岡田信一郎（設計原案）、 辰野金吾（建築顧問）、 片岡安（工事監督）
施工	直営工事
構造形式	既存部：鉄骨煉瓦造＋増築部：RC 造
階数	地上3階、地下2階、塔屋付
敷地面積	5,641.81㎡
建築面積	2,330.35㎡ （既存部 2,164.17 + 増築部 166.18）㎡
延床面積	9,886.56㎡ （既存部 8,425.04 + 増築部 1,461.52）㎡
着工	1913年（大正2年）6月28日
竣工	1918年（大正7年）10月31日
改築	2002年9月保存・再生工事完工
所在地	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 1丁目1番27号

【文化財指定】

重要文化財

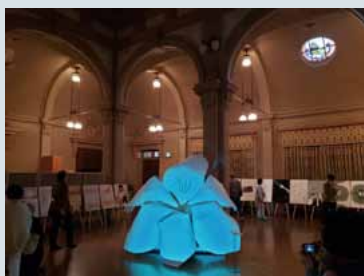
指定日 2002年（平成14年）12月26日

※建物概要は、Wikipediaを引用しています。

2018.9/28～10/11「大阪市中央公会堂
100th × mt 10th Anniversary in Osaka」より。



2018.11/16～11/18 大阪市中央公会堂開館
100年プログラム「大阪芸術大学特別展示
〈OSAKA DESIGN FLOW〉」より。



開館100周年にあたり、
さまざまなイベントが
行われています。

公会堂のない大都市大阪を憂い、
1人の大阪市民の寄付を元に着工。
公会堂は、ひとりの大阪市民、岩本栄之助
氏の寄付をもとに竣工した。岩本氏は、明治
から大正時代にかけて大阪の株式界で活躍し
た人物で、アメリカの富豪たちが公共・慈善
事業に熱心なことに共感した彼は、友人に「大
阪はこれだけの都市なのに公会堂がない。公
会堂を造ろう」「自分ら若造の商人がやるの
はせんえつだとは思っが」という趣旨を語り、
約100万円（現在の価値で50～100億円
とも）を大阪市に寄付。東洋のカーネギー
ホールたらん公会堂の建設が決定した。
しかし工事が進む中、株式相場で苦境に
陥った岩本氏に対し、市が資金を返すとい
う話が浮上したが「一度寄付したものを返せ
というのは大阪商人の恥」としてこれを拒否。
公会堂の完成を見ることなく、自らの手で39
歳の波乱の人生を終える。その後、平成の世
に入り長い年月を経て老朽化が進んだ公会堂

は、今度は約1万3千人もの市民や企業から
〈赤レンガ基金〉と呼ばれる募金活動で集ま
った7億円あまりの資金などにより美しく蘇
る。岩本氏の精神を受け継いだ多くの民間の
力に支えられ、これからは庶民の街、大阪の
シンボルとして愛されていくことだろう。
ハード面・ソフト面の充実により、
新たな100年に向けてリニューアル。
永久保存が決議された公会堂の再生工事
は、単なる復元改修に留まらず、総重量3万
トンとも言われる公会堂全体を、そのま
ま免震構造に乗せるという技術へ免震レトロ
フィット、スロープやエレベーターの新設
などハード面を改善。あわせてソフト面でも、
2006年から民間企業のサントリアパブリ
シティサービスグループに運営を委託するな
ど、時代のニーズに応じて次世代まで活用で
きるよう変化をとげた。特に100周年を迎
える本年は、アートシーンとのコラボや様々
なイベントが行われ、今までにない新たな顔

正面のアーチの上には、第2次世界大戦で供出され
2002年に復元された、ローマ神話の平和・工芸・科
学を象徴する女神ミネルヴァ（写真右）と、商業の神
メルクリウス（写真左）が鎮座している。
提供：大阪市中央公会堂



を見ている。過去と現在が融合し新しい未
来をひらく。常に変化と成長を見せる公会堂
はまさに「生きた建造物」と言えるかもしれ
ない。短い一生を終えた岩本氏により生をう
けた公会堂は、新しい100年に向けて、こ
れからもその精神とともに永遠に生き続け、
人々を魅了していくに違いない。

よくわかる!!

労働法ゼミナール

Lesson 5『拘束時間』

Lesson4の『休憩時間』の説明にあった『拘束時間』とは、どのような時間帯のことをさすのかを理解しておきましょう。

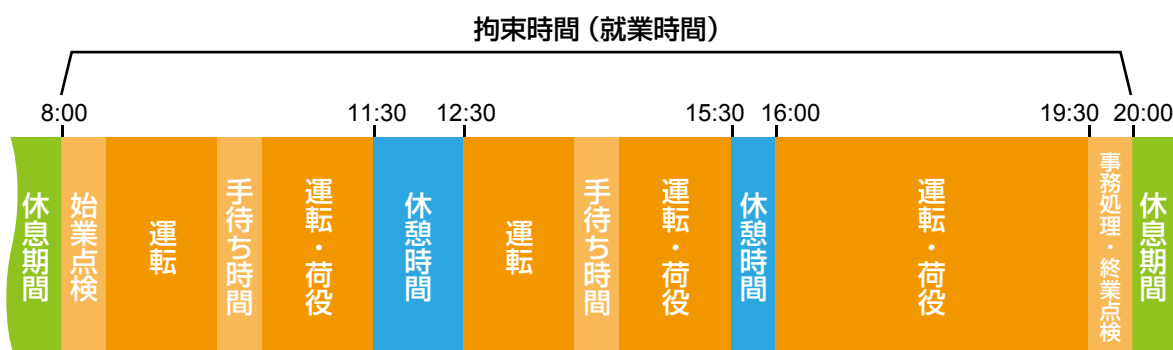
?『拘束（こうそく）時間』とは？

『拘束時間』とはどのような時間を指すのでしょうか？これは会社に拘束される時間、つまり会社の管理下に置かれる時間全体を拘束時間と言い、その中で、完全に労働に従事しない時間を休憩時間と言います。『拘束時間』＝労働時間（手待ち時間を含む）＋休憩時間ということです。

おわかりになりましたか？まずはお仕事をしているときに、休憩期間がちゃんと取られているか、ドライバー業種の労働者の皆さんが、事故を起こすことなく安全に運行するために、いつまでも健康な体を維持するために休憩は必要です。覚えておいてください。

拘束時間

労働時間（手待ち時間を含む）＋休憩時間



雇用する側もはたらく側も、はたらくルールをよく知り、安全で快適な職場環境をめざしましょう。

※ご質問・ご意見などがありましたら、KURS までお問い合わせください。



「労働者の、業界の、社会の「結」を目指して。」

月日が経つのは早いものです。私たちは、昨年末6団体で構成していた「労組連合会」からの離脱、そして近畿生コン関連協議会（KURS）を立ち上げてから、早一年を迎えようとしています。

この間に、西日本建設関連オーナー会と KURS との集团的労使関係が確立され、私たちは一丸となって、連帯労組の反社会的行為を許さない取り組みをはじめ、日々雇用労働者の処遇改善に焦点をあてた「18 春闘」の早期解決、また 3,000 名を超える組合員とその家族が参加した福利厚生イベント「ファミリーフェス 2018」の開催など、さまざまな取り組みについて成功を収めてきました。

そして私たちは、このような新しい集团的労使関係を発展させ、新たに構築していくためのプラットフォームとして、業界誌「結」（YUI）の発行をはじめました。

「結」とは、かつての日本で、田植えや稲刈り、屋根ふきなど、大きな労力が必要な仕事を、隣近所と効率よく行うためにつくられた、助け合いの仕組みのこと。本誌「結」も同じ考え方です。

KURS、大阪広域生コンクリート協同組合、西日本建設関連オーナー会が一丸となって、生コン業界のさらなる発展と組織改革、生コン事業に関わる事業者、そこで働く労働者の処遇改善、建設産業発展に携わる事業の大いなる発展をめざすことを、創刊号からの信条にしています。

今号では、大阪広域生コンクリート協同組合の CSR 活動について取材を行い、その活動の裏に〈三方良し〉の精神があることを学びました。ここにも助け合いの精神がありました。

おかげさまで「結」は、大阪広域生コンクリート協同組合・西日本建設関連オーナー会をはじめとする利害関係者の皆様のご支持ご支援のもと、現在 Vol.6 の発刊にこぎつけました。皆様には、誌面をもってお礼に代えさせていただきます。

これからも労働者の皆さんの、業界の、社会の「結」になれるよう、編集スタッフ一丸となって努力いたしますので、今後ともご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2018 年 11 月
KURS「結」編集委員会

「結」 Vol.6 2018 年

2018 年 12 月 7 日

発行・発行所 **KURS** Kinki Union council of
Ready-mixed concrete Staff

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-12-9

発行人 岡元 貞道

編集 「結」編集委員会

第12回 未来の街を描こう!! 絵画コンクール

子どもたちが未来の街を自由な発想で考え、描き、発表する場を設けるため、大阪広域生コンクリート協同組合は、産経新聞社との共催で2007年から「未来の街を描こう!! 絵画コンクール」を実施しています。展示会や表彰式を行うだけでなく、受賞作品をミキサー車にプリントして街中を走ることで顕彰しています。

テーマ 「世界に見せたい未来の街」

詳しくは
こちらのページを
ご覧ください



未来の街最優秀賞

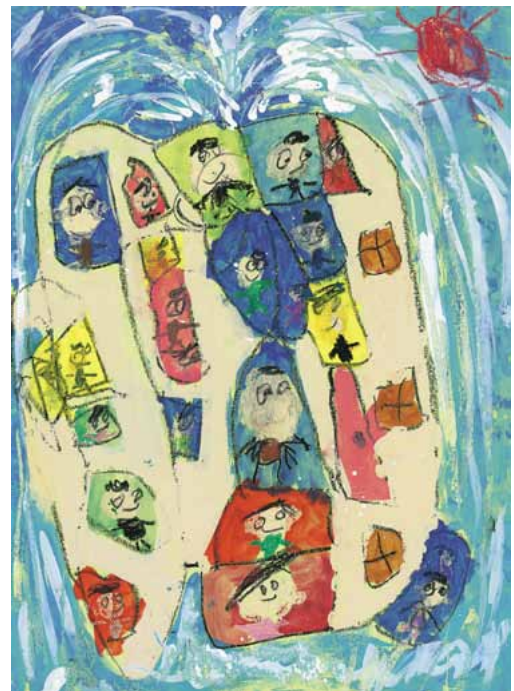


『太陽からエネルギーを作る町』

柴谷 英太さん (4年生)



未就学児部門 最優秀賞



『水があふれる未来の街』

栗田 悠仁さん (5才)

組合に加入しよう!!

労供連絡協議会
組合員募集!!

加入お待ちしております、
お気軽に声をかけてください。

業務内容：4t～10t コンクリートミキサー車乗務



連絡先 TEL : 06-6886-3322

